平成２８年１２月１９日

記者会見資料

大阪経済記者クラブ会員各位

「大阪活力グランプリ２０１６」グランプリの発表について

【お問合せ先】
大阪商工会議所　広報企画担当（中村、冨永）
ＴＥＬ０６－６９４４－６３２４

１　本年度の被表彰者

○グランプリ：「ＥＸＰＯＣＩＴＹと市立吹田サッカースタジアム」

【理　由】万博記念公園内に隣接してオープンした両施設が相乗効果を発揮し、北大阪に新たな賑わいを創出、大阪の活性化に貢献した。スポーツ施設の新たな公民連携モデルとしても注目される。

２　選考経過

○１０月２７日、第１回選考委員会において、ノミネートされた３２候補から７候補を選出。

○１１月１５日、第２回選考委員会において、委員による投票を実施し、最高得票を獲得した「ＥＸＰＯＣＩＴＹと市立吹田サッカースタジアム」がグランプリ候補に決定した。

○１２月９日の正副会頭会議において被表彰者を決定した。

３　表彰式

【日　時】１２月１９日（月）１５：３５～１５：５０

【出席者】三井不動産株式会社　常務執行役員関西支社長　中井　省吾　氏
株式会社ガンバ大阪　代表取締役社長　山内　隆司　氏

【場　所】大阪商工会議所　７階　国際会議ホール

【内　容】表彰状、トロフィーの贈呈／今宮戎神社より記念品を贈呈
記念撮影／受賞者による挨拶

以　上

参　考

【大阪活力グランプリ２０１６実施概要】

１．趣　旨

大阪の地域経済・産業発展に多大の貢献を果たした個人、法人・団体･施設等を表彰し、その貢献をたたえるとともに、大阪のチャレンジ精神・パイオニア精神の発信・高揚を図る。

２．主　催

大阪商工会議所

３．協　力

選考委員としてご協力いただけるマスコミ各社

４．表彰対象

①対象者　：個人、または法人・団体・施設等
②対象地域：大阪府内
③対象期間：平成２７年１２月～平成２８年１１月

５．表彰要件

①大阪地域の経済振興・産業発展・イメージアップ等に貢献した個人、法人・団体・施設等。
②新機軸の製商品・サービスを開発、企業経営や事業推進等で革新的なビジネスモデルを導入、もしくは集客に多大の成功を収めた個人、法人・団体・施設等。

６．審査手続き

①大阪商工会議所内に選考委員会を設置（９月１６日)。
②選考委員に被表彰候補案件の推薦を依頼するとともに、大阪商工会議所議員・部会長・委員長・支部長各位に候補案件推薦を依頼（９月２８日)。
③第１回選考委員会で被表彰候補案件を絞り込み（１０月２７日)。
④第２回選考委員会で選考委員による投票を行い（１１月１５日)、正副会頭会議に候補案件を推薦。
⑤正副会頭会議において被表彰者を決定（１２月９日)。

【大阪活力グランプリ２０１６選考委員会委員】

委員長	大阪商工会議所	専務理事	宮城　勉
委　員	朝日新聞大阪本社	経済部長	大海　英史
	朝日放送	報道局マネージャー	大塚　展生
	ＮＨＫ大阪放送局	広報部長	藤本　徳明
	大阪日日新聞	総局長	深田　巧
	関西テレビ放送	報道局長	伊東　亮
	共同通信社大阪支社	経済部長	髙橋　雅哉
	産経新聞大阪本社	経済部長	内田　透
	時事通信社大阪支社	次長兼編集部長	平間　俊行
	テレビ大阪	報道スポーツ局長	片山　俊之
	日刊工業新聞大阪支社	編集局長兼経済部長	赤穂　啓子
	日本経済新聞社大阪本社	編集局次長兼経済部長	藤賀　三雄
	毎日新聞大阪本社	経済部長	藤好陽太郎
	毎日放送	報道局ニュースセンター経済担当部長	奥田　雅治
	読売新聞大阪本社	経済部長	菊池　隆
	讀賣テレビ放送	報道局長代理	伊藤　憲浩
	大阪商工会議所	常務理事・事務局長	児玉　達樹
	大阪商工会議所	総務広報部長	近藤　博宣

（以上１８名）

「大阪活力グランプリ」歴代被表彰者一覧

○第１回グランプリ（平成１４年１２月）

＜グランプリ＞東大阪人工衛星プロジェクト

（理由：東大阪市の青木豊彦・アオキ社長を中心に取り組んでいるなにわの人工衛星づくりは、まだ現実にはなっていないが、中小企業の技術力の高さを示し、夢を与えた）

＜特　別　賞＞アンジェスMG

（理由：大阪大学の森下竜一助教授が創業し、９月２５日に東証マザーズに上場。ゲノム創薬分野としても、大学発ベンチャーとしても初の上場を果たし、バイオベンチャーへの関心を集めた）

＜特　別　賞＞南堀江界隈

（理由：かつて家具の街として栄えながら、取り残されていた「南堀江」を意欲とアイデアで、若者の街として再生。今や大阪になくてはならない街になっている）

○第２回グランプリ（平成１５年１２月）

＜グランプリ＞なんばパークス

（理由：大阪ミナミの拠点として当地のイメージの高揚に貢献するとともに、開業６日間で来場者数が１００万人を突破するなど今後も継続的な経済効果が期待できる）

＜特　別　賞＞阪神タイガース

（理由：１８年ぶりのリーグ優勝は沈みがちな関西人や関西経済を元気づけた。経済効果以上の活気を大阪の街に戻した貢献度は大きい）

○第３回グランプリ（平成１６年１２月）

＜グランプリ＞Team ＯＳＡＫＡ

（理由：産学連携によるサッカーロボ「ヴィジオン」を開発。「ロボカップ」国内大会（５月・大阪）、国際大会（７月・ポルトガルリスボン）でともに優勝。また、吉本興業、ダイヘンなども加わり４０社で６月に新組織「Roobo」を設立、ロボット普及に尽力している）

＜特　別　賞＞該当なし

○第４回グランプリ（平成１７年１２月）

＜グランプリ＞新生・そごうと“心ぶら”の復活

（理由：そごう心斎橋本店が９月７日に５年ぶりに再オープンし、大阪ミナミに新たな賑わいの拠点が誕生。心斎橋筋商店街は、そごう開店を機に大人の街の復活に向け共同で取り組み。“心ぶら”という言葉も復活した感がある）

＜特　別　賞＞ガンバ大阪

（理由：Ｊリーグ発足後、関西勢として初のリーグ優勝を果たした）

○第５回グランプリ（平成１８年１２月）

＜グランプリ＞天満天神繁昌亭

（理由：官に頼らず市民の寄付により、大阪に６０年ぶりとなる落語専門の定席を復活させた。伝統芸能という文化発信基地の常設で大阪のイメージアップに大きく貢献。さらに地元商店街の活性化も期待できる）

＜特　別　賞＞株式会社グローバルウイングス

（理由：ビジネスジェットサービス専門の航空ベンチャー。大企業をバックとしない独立ベンチャーで、関西国際空港を基地として利用するなど、大阪経済への貢献が期待できる）

○第６回グランプリ（平成１９年１２月）

＜グランプリ＞シャープ株式会社

（理由：堺市に建設される液晶パネル工場・薄膜太陽電池工場は、雇用の拡大や関連企業の進出など、地域に大きな経済波及効果を与えることが期待される）

＜特　別　賞＞大阪フィルハーモニー交響楽団　音楽監督　大植　英次　氏

（理由：指揮者として国際的に活躍する一方、創立６０周年を迎えた大阪フィルハーモニー交響楽団の音楽監督として、「星空コンサート」や「大阪クラシック」など、大阪で気軽にクラシック音楽を楽しめる機会を創出している）

○第７回グランプリ（平成２０年１２月）

＜グランプリ＞京阪電気鉄道株式会社

（理由：京阪中之島線の開業により、ビジネス街・中之島へのアクセスが飛躍的に向上するとともに、街の姿を大きく変える起爆剤としての役割が期待できる）

＜特　別　賞＞山本化学工業株式会社

（理由：英スピード社の水着「レーザー・レーサー」が席巻した北京五輪の競泳種目で、独自開発した「バイオラバースイム」の技術力が注目を集め、大阪の中小企業の実力を世界にアピールした）

○第８回グランプリ（平成２１年１２月）

＜グランプリ＞阪神電気鉄道株式会社

（理由：大阪・難波を経由して神戸と奈良を結ぶ新たな広域ネットワークを形成し、関西圏の活性化や利用者利便の向上に大きく寄与した）

＜特　別　賞＞水都大阪２００９と水辺の活性化事業

（理由：水の都の素晴らしさを再認識させるとともに、人々と水とのふれあいを促進させ、大阪の魅力向上に大きく寄与した）

＜特　別　賞＞井山裕太名人

（理由：史上最年少かつ大阪出身者として初めて囲碁の「名人位」を獲得した功績は大きい）

○第９回グランプリ（平成２２年１２月）

＜グランプリ＞あっぱれＥＶプロジェクト

（理由：環境性、デザイン性に優れた三輪の電気自動車（ＥＶ）「Meguru」を開発し、関西の中小企業の技術力をアピールした）

＜特　別　賞＞上本町ＹＵＦＵＲＡ

（理由：大阪新歌舞伎座を核にした新たな複合施設は、大阪の文化芸術の発信拠点として、活力向上とイメージアップに大きく貢献している）

○第１０回グランプリ（平成２３年１２月）

＜グランプリ＞大阪ステーションシティ

（理由：大阪の玄関口である大阪駅に、新たな人の流れを創出した功績は大きく、関西再生をリードする拠点として期待される）

＜特　別　賞＞大阪マラソン

（理由：大阪初の市民参加型マラソンとして多くの人を呼び込むとともに、まちの魅力を広く発信した）

○第１１回グランプリ（平成２４年１２月）

＜グランプリ＞新関西国際空港会社の設立とＬＣＣの就航

（理由：関西国際空港と大阪国際空港の一体運営、日本初の本格的ＬＣＣの就航により、地域経済の活性化に大きく貢献した）

＜特　別　賞＞１００周年の吉本興業、通天閣・新世界、ひらかたパーク

（理由：創業１００周年の節目の年に様々なイベントを実施し、大阪の魅力を広く発信した）

＜特　別　賞＞山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞受賞決定

（理由：大阪・関西における製薬・バイオ産業の活性化に大きなインパクトが期待される）

○第１２回グランプリ（平成２５年１２月）

＜グランプリ＞グランフロント大阪

（理由：大阪の新たな玄関口として、商業活性化や交流人口の拡大に大きく貢献するとともに、知的創造拠点「ナレッジキャピタル」における新産業創出も期待される）

○第１３回グランプリ（平成２６年１２月）

＜グランプリ＞ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

（理由：人気映画「ハリー・ポッター」の世界を再現したエリアは、国内外から観光客を呼び込む新たな集客拠点となり、経済活性化に大きく貢献した）

＜特　別　賞＞あべのハルカス

（理由：日本一の超高層ビルとして新たな集客拠点を形成し、周辺地域の活性化に寄与した功績はグランプリに準ずる

○第１４回グランプリ（平成２７年１２月）

＜グランプリ＞インバウンド消費を盛り上げたミナミの商店街

（理由：急増する外国人観光客の受け入れ体制を強化することで、「爆買い」による消費拡大に貢献し、大阪経済に活力を与えた）

以　上